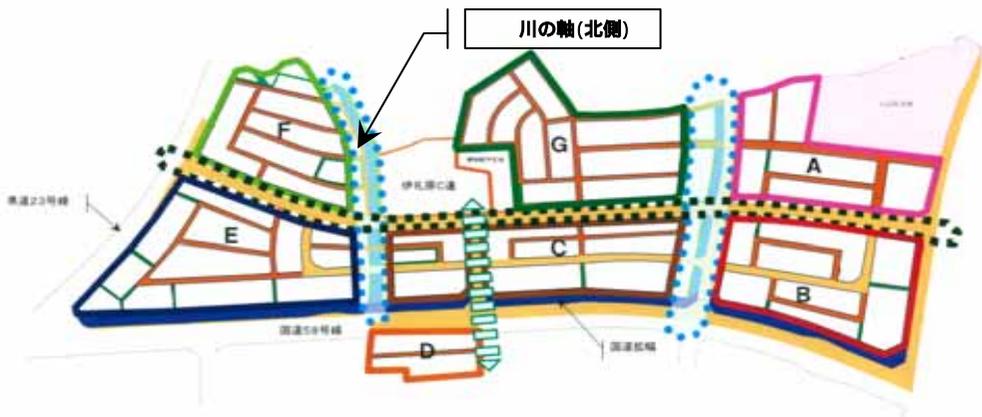


川の軸(北側)

徳川及び近接の住宅地



現況写真



徳川支流



徳川上流



合流地点



合流地点豪雨時

マスタープラン案イメージ

- ・川の両側に散策路(公園、緑道)が山側から58号線まで続く
- ・川沿いの散策路の両側にヒカザクラ、センダングサなどの並木
- ・上流は水が少ないので緑地としての河道の作り方を工夫する

現 状

- ・区画整理事業で整備を計画している河川。
補助金による整備を予定しているが、補助金の内容、予算規模等は未定。
- ・中通りから国道向けにかけては川の両側に緑道が整備される。
- ・基本計画では川幅10~12m、高さ3~4m。
- ・大雨以外では水量は少ない。

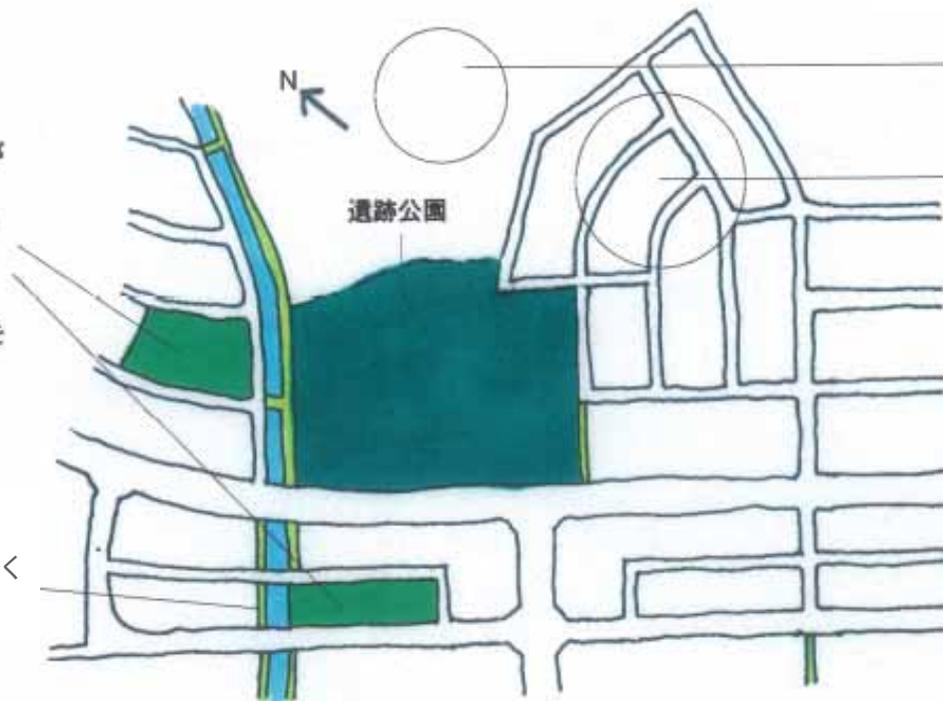
課題及び提案

- ・中通りより上流の部分についても、川の両側に緑道を設け、ヒカンザクラ等の並木が続く水辺をつくる。
そのため、住宅地(北)側の河川敷内に歩道を設け、サクラ等の並木を連続させる。木を植えるスペースがない場合は、擁壁上部に地被類の植物を植え修景する。
- ・川の北側の住宅地については、道沿いを緑化したり、道沿いに高木を植えることを促す。
- ・河川の護岸については、間知ブロック等でシンプルに整備する(補助金額は少ないのでないか)
- ・欄干はシンプルなデザインにする。
- ・手すりについては、奈留川と揃える。

徳川周辺、公園の整備イメージ (案)

●街区公園のイメージ

- ・芝生の原っぱを基本とする
- ・日陰をつくったり、木登りができるシンボルツリー (高木)。ガジュマルやホウオウボクなど)
- ・防犯照明
- ・作業小屋 (維持管理の道具を入れる、手を洗う)



●斜面緑地の保全

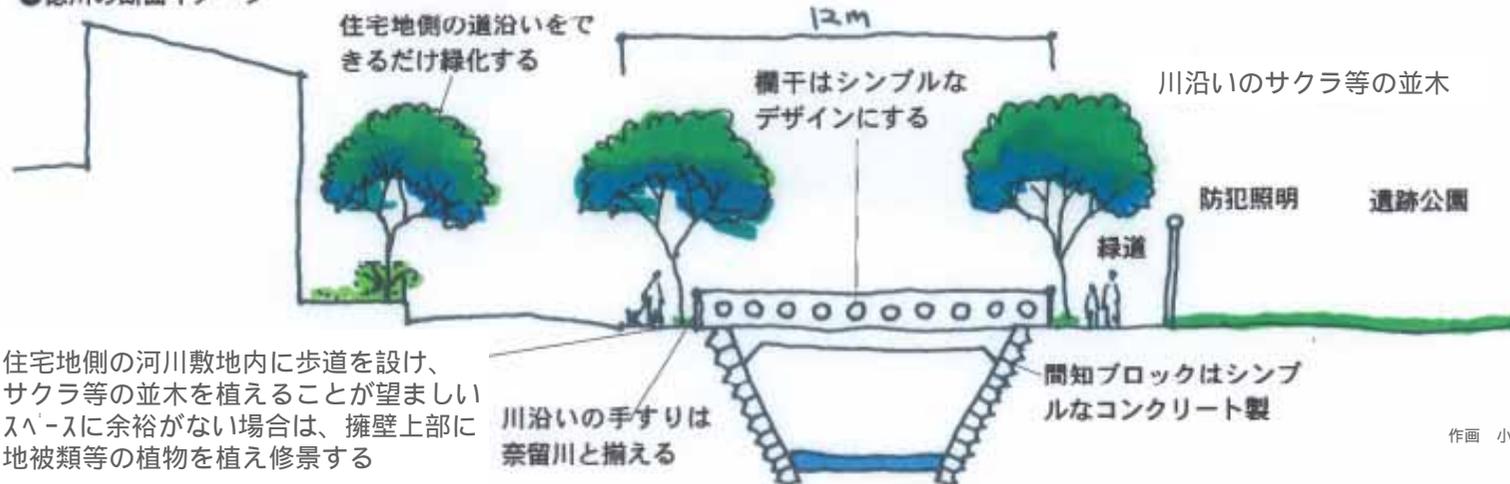
- ・景観上重要な斜面緑地の保全を図る

●150坪以上の高級感のあるモデル的な住宅街区

- ・南入りの敷地をうまく取れるよう街区内の敷地割りを工夫することが望ましい

- 川沿いのサクラ等の並木
- 沿道沿いに58号線まで続くヒカンザクラ等の並木

●徳川の断面イメージ



- ・住宅地側の河川敷地内に歩道を設け、サクラ等の並木を植えることが望ましい
- ・スペースに余裕がない場合は、擁壁上部に地被類等の植物を植え修景する

作画 小野啓子